



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報  
**大森 海苔のふるさと館** ニュース新春号(12号)



新年のご挨拶

平塚 義正

新年明けましてお芽出とうございませす。  
 昨年は皆様様の力強いご支援を頂き「海苔のふるさと館」の行事が、滞りなく運んで来られましてこと心より感謝申し上げます。  
 本年は寅歳の力強さを頂いて昨年より劣らず事業を勧めたいと存じます。昨年は海苔つけや箸編み体験、浜辺の生き物探検、紙のベカブネ作り、海苔の街を伝える講座と街歩き、海洋大学と提携等体験学習を基本に実施してまいりました。本年は参加者のご意見等を生かして幅を広げてゆきたいと思っております。  
 閉館してから職員は来館者一人一人に温かい挨拶をする様心掛けてまいりました。お陰で新春早々約五万人の来館者を迎えることとなり、本場大森海苔を築き上げた私達の祖先は、昆布でいてくれると思っております。  
 今後共にご支援賜ります様お願いいたします。

(特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 理事長)



# あけましておめでとございます!!



昨年  
10月ごろか  
さとの浜辺に

らふる  
ヒビを建て、海苔の生育観察をしています。12月に手入れ(初摘み取り)を行い、約260枚の乾し海苔を付けましたが、その後、なかなか上手くいかず…。やはり自然相手なので難しいです。今年もおいしい海苔がたくさん取れますように!!  
(平山龍)



ふるさと館は“海苔”をテーマとした国内初の博物館として数多くの方々にお越しいただいております。国内のみならず、特にヨーロッパや北米・南米、アジアなどの諸外国からの来館者の方々も多数訪れております。昨年はお陰様で来館者が14万人を超える偉業を成し遂げました。元海苔生産者の方々とは来館者の方々との掛け橋になれるよう昨年以上にがんばりたいと思います。  
(高橋義人)



大森には、かつて海苔の季節労働者として地方から来た方々もいらっしゃいます。私も東北出身。このふるさと館も、地元の方々だけでなく、関心を持ってくださる多くの方々にとっての「ふるさと」になることを願っています。今年もよろしくお祈りします。  
(五十嵐麻子)



昨年は「読み聞かせ」を「はまどの会」の方たちに時にはボランティアの人たちに支えられて毎月行うことができました。大勢の親子さんに聞いて楽しんで、ふるさと館を好きになっていただきました。ありがとうございます。今年もよろしくお願いいたします。  
(渡辺久江)



あけましておめでとございます。今年、寅年!!ふるさと館もトラのごとく勇猛果敢に運営に取り組み、地域の皆様楽しんでいただけるようガンバリたいと思いますので、応援よろしくお祈りします。  
(宮川修)

ふるさと館に入ると、おじいちゃんと孫の会話が流れてきます。「寒くなると海苔がたくさん採れてお正月も休まなかったんだよ。」2階に展示してある「ぱっこ」って? 3階から浜を眺めたら外で元気に遊んで下さい。コマ、けん玉、羽子板もどうぞ。窓口から今年もよろしく。  
(信田幸子)



**特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館 ニュース」12号**  
平成22年1月1日発行  
編集・発行 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会  
連絡先 東京都大田区平和の森公園2番2号  
TEL 03-5471-0333  
FAX 03-5471-0347